

式が 1月13日(日)午前9時30分から町田市役所・中町第一庁舎駐車場で行われ、消防に携わる人々の志氣の高揚と防火・防災に対する決意を新たにさせる式典です。当式は規律正しく整列をした団員への激励や優良消防団表彰などの式典に統合され、町田消防少年団

による演技 玉川学園吹奏楽団の演奏 町田市消防団による応急救助 演習 町田市消防署による消防演習 演技と消防団盛りだくさんで 水など催し物盛りだくさんで す。なお 当日は出初式のため 午前7時から市内一斉にサイレン を鳴らしますので、火災とお間違えのないようにお願いします。

町田市消防団出初め式

横浜線相原駅自由通路及び橋上駅舎化工事の起工式が12月15日に行われました。

横浜線相原駅 橋上駅舎化 工事に着手

構造法によじ分割されして東西地区を結ぶため、自由通路を設置します。

施設概要としては、橋上駅舎部の規模は、幅18メートル、長さ32メートル、延床面積約8,655平米メートル、地上2階建て（一部3階建て）でエスカレーター4基、エレベータ2基などが設置されます。総事業費は約18億1,400万円、町田市負担分は12億2,100万円で、2004年3月に完成予定です。

この相原駅整備により、西側の都市計画道路の整備、相原駅周辺の整備に弾みがつくものと期待されます。

なお、相原駅橋上駅舎の完成予想図は本紙1面に掲載しています。

子どもマラソン大会

1269人が走りました



練習の成果を発揮し、みんな頑張りました

災害時の協力協定を締結

市では、災害時における高齢者等災害弱者の安否確認と応急介護について、12月20日、町田市高齢者福祉施設運営協議会（会長＝杏林莊園長・稻吉平四郎）と協力協定を締結しました。

これを実施するのは、社会福祉法人やNPO法人、財団法人で構成している町田市高齢者福祉運営協議会に加盟している13法人・事業者です。

市では、災害時における高齢者等災害弱者の安否確認と応急介護について、12月20日、町田市高齢者福祉施設運営協議会（会長＝杏林莊園長・稻吉平四郎）と協力協定を締結しました。

これを実施するのは、社会福祉法人やNPO法人、財団法人で構成している町田市高齢者福祉運営協議会に加盟している13法人・事業者です。

サービス利用者の半数以上が高齢者夫婦のみの世帯やひとり暮らしと推定されます。

今回の協力協定の内容は、人のサービス（通所介護と訪問介護等）の利用者で、一人暮らしが安否確認が必要と思われるものを災害時に訪問し、安否確認を実施し、市に報告するものです。

今後、協議会以外の事業者も



寺田市長に答申書を手渡す
永井会長（左側）

協定を締結し、在宅で介助等支援の必要な高齢者等の災害時対策のための「まほらん」を実現いたしました。

災害時の協力協定を締結

一人ひとりの地球温暖化対策

[C]CO ₂ 削減実績					
取組みの例		一世帯当たりの年間C O ₂ 削減効果	一世帯当たりの年間排出量に対する削減割合(%)	一世帯当たりの年間節約効果	備 考
1	冷房の温度を1高く、暖房の温度を1低く設定する	約31kg / 年	0.5%	約2,000円 / 年	カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着うたものを工夫することで、冷暖房機に頼らないで過ごせる。冷暖房を始める時期も少し待ってみる。
2	週2日往復8kmの車の運転をひかえる	約185kg / 年	3.1%	約8,000円 / 年	通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用する。歩いたり自転車を使う方が健康にも良い。
3	1日5分間のアイドリングストップを行う	約39kg / 年	0.7%	約2,000円 / 年	駐車車や長時間停車するときはエンジンを切る。大気汚染物質の排出削減にも寄与する。
4	待機電力を90%削減する	約87kg / 年	1.5%	約6,000円 / 年	主電源を切る。長期間使わないときはコンセントを抜く。買い換えるときは待機電力の少ない製品を選ぶ。
5	シャワーを1日1分家族全員が減らす	約65kg / 年	1.1%	約4,000円 / 年	身体を洗っている間、お湯を流しつぶしなしにしないようにする。
6	風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	約17kg / 年	0.3%	約5,000円 / 年	洗濯や、庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいる。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利である。
7	ジャーの保温を止める	約31kg / 年	0.5%	約2,000円 / 年	ポットやジャーの保温は、利用時間が長いため多くの電気を消費する。ごはんは電子レンジで温めなおすほうが電力消費が少なくななる。
8	家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす	約240kg / 年	4.1%	約11,000円 / 年	家族が別々の部屋で過ごすと、暖房も照明も余計に必要になる。
9	買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ	約58kg / 年	1.0%		トレー やラップは家に帰ればすぐごみになる。買い物袋を持ち歩いてレジ袋を減らすことも出来る。
10	テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす	約13kg / 年	0.2%	約1,000円 / 年	見たい番組だけ選んで見るようとする。
	合計	約766kg / 年	13.0%	約41,000円 / 年	
	日本全体の効果	約34.7百万吨 / 年	日本全体の温室効果ガス排出量(1990年)を2.8%削減		

（注）一世帯当たりの年間C.O.排出量：約5,900kg。我が国の世帯数：4,742万戸（1999年）我が国の乗用車数4,000万台我が国全体の効率の算出方法：自動車の取組（2, 3）による削減効果×4,000万台+その他の取組×4,742万台（世帯）=34.7百万トン我が国の京都議定書基準年の温室効果ガス排出量：1,223.8百万吨（出典：環境省）

地球温暖化対策

家庭で次の表の取り組みを行うと、私たちの国の温室効果ガス排出量を2~8パーセント削減できます。冬季は、家庭でのエアコンが消費が増えます。できるものか